

令和4年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第2回急変時対応部会を開催しました



- 8月29日(月)に第2回急変時対応部会をオンラインで開催しました。参加者は、部会メンバー6人と事務局4人でした。
- 今年度の急変時対応部会では、介護支援専門員が急変時に備えた心構えを持てるようになるために、介護支援専門員に求められる役割などを学ぶ場(研修会)の開催を計画しています。
- 研修会の内容や進め方を具体化するため、8月17日(水)に頸北地区介護支援専門員研修会の場を活用し、プレ研修会を開催しました。
- 今回の部会は、プレ研修会の結果を踏まえ、研修会の内容に関する協議を行いました。

プレ研修会の実施状況、評価について

プレ研修会の実施状況は以下のとおりです。

<日時>

令和4年8月17日(水) 13:30~14:30

<開催方法>

Zoom開催

<参加者>

頸北地区介護支援専門員 23人

<内容>

- ①在宅医療・介護連携推進協議会の説明
- ②急変時対応部会の取組、「高齢者の急変時における実態調査」の結果(現状と課題、必要と思われる取組)の説明
- ③グループワーク
 - ※事業所ごとにグループを編成
 - ・急変時対応で大変だったことや上手くいったことなどの共有

④まとめ

<アンケートの結果>

- ・21人から有意義であったとの評価をいただきました。

(主な意見)

- 急変対応時の介護支援専門員としての役割・準備について、改めて確認することができた。
- 在宅での急変時対応は未経験であったため、実際の体験談が聞けて良かった。

- 研修終了後も、介護支援事業所内において急変時に向けた対応の話合いが継続できている。

<事務局側の評価>

- 日頃から本人・家族の意向や、病状の見通し、及び急変時にかかる対応を、かかりつけ医に確認しておくことの重要性を学ぶ機会となった。
- 介護支援専門員が把握する情報を適宜支援者間で共有しておくことで、急変時に介護支援専門員への負担の集中を防げることを確認した。
- 救急医療情報キットの活用状況を学ぶ機会となり、今後の更新手続き支援について意識の醸成が図られた。

今後の予定について

- ・プレ研修会の内容を基に、「『急変』の捉え方」、「情報共有の必要性」、「本人の意向確認」、「多職種連携の必要性」を要点に、10月以降にオンラインで開催する。
- ・グループワークには、部会委員等がファシリテーターに入るため、参加人数は20人程度とする。
- ・妙高市内の介護支援専門員に対しては、10月に開催予定のケアマネ広場を活用し、研修会を行う。
- ・上越市内の介護支援専門員に対しては、11月半ばに研修会を開催する。

※次回の部会は12月に開催します。

以上